

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 茨城県立並木中等教育学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒305-0044
茨城県つくば市並木4-5-1

E-mail : daihyo@namiki-cs.ibk.ed.jp

Website : http://www.namiki-cs.ibk.ed.jp

児童生徒数：男子 475 名 女子 475 名
合計 950 名
児童・生徒の年齢 12 歳～18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

以下の3項目をH26年度は実施。

1 国際理解
 2 食育
 3 伝統文化

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【国際理解教育・国際交流など特色ある学校づくりの取組み】

ア 1年・2年次：英語の基礎力を徹底的に鍛える時期。1年次後半から本県独自の英語コミュニケーションコンテストである「インタラクティブ・フォーラム」に向け、インプット・アウトプットの練習を英語科授業内で年間を通して実施。

イ 2年次11月：「インタラクティブ・フォーラム」の練習で身についた基礎的な英語コミュニケーション能力のアウトプットの場として、国内語学研修を2泊3日で実施（福島県にある「ブリティッシュ・ヒルズ」にて。中世英国を模した建物でオールイングリッシュの生活を送る）

ウ 3年次：JICA研修員を学校に招き、出身国について英語でプレゼンテーションをしていただいたり、交流を行う。英語でのクッキングも実施。

エ 3年次：国内修学旅行後、英語でジャーナルを書かせ相互発表。

オ 4年次希望者・5年次：学術振興会の協力を得て、海外の研究者を4人から6人を招き、理系分野の研究内容について英語で発表していただき相互交流。（サイエス・ダイアログ）

カ 4年次希望者：ニュージーランド語学研修。
約2週間現地で研修。現在はファームステイの後、7校から8校に分散し現地校交流とホームステイを体験。ホームステイは一人一家庭でもあり、英語力をアウトプットする行事として本校行事の中の最大のものとなる。今後は単なる語学研修に終わらず、現地において「環境」を意識した企業訪問や大学訪問を実施し、ユネスコスクールとSSHとを意識した、キャリア教育に結びつような本校独自の海外研修にしていく予定。

キ 5年次：海外修学旅行（マレーシア）。国際教育の集大成として実施。多民族・多宗教の異文化に触れる。英語を使用し、現地の研究所見学や現地の大学生

とキャンパスツアーや班別市内研修実施。また、世界遺産マラッカも訪問する。新興国として活力のあるアジアを訪れることでアジアの中の日本を意識させている。

ク 希望者：「一人一研」「SSH成果報告会」などで英語で研究発表が行えるようになるよう、ベルリッツジャパンに委託して「サイエンスレクチャー」を実施。SSHから補助も出るため、生徒の負担は6回の講座で1万2千円程度（テキスト代含む）。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 1 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 2 時間外活動の時間を使用